



や わ

和らげます。関節の痛み

市立ひらかた病院に専門外来 7月1日オープン

北河内唯一の公立病院、市立ひらかた病院（禁野本町2）に7月1日（水）、整形外科の専門外来「下肢機能再建センター」がオープンする。股関節やひざ関節など3人の専門医が診療に当たり、関節の痛みにより日常生活に支障をきたしている人が再び生き生きとした暮らしを取り戻すことができるよう、さらに質の高い診断と治療に努める。

- ★ 市立ひらかた病院の整形外科には11人の医師（うち常勤は4人）が診療に当たっており、手術を中心とした濃厚な治療介入により患者の容態の効果的な改善を図っている。
- ★ 社会の高齢化が進む中、変形性関節症や変形性脊椎症といった加齢に伴う疾患は年々増加傾向にある。また、スポーツ人口の増加により足や膝など下肢に障害を負う患者も増えていることから、整形外科診療のニーズは高まっている状況にある。
- ★ 下肢機能再建センターはこうした社会状況を踏まえ、同病院整形外科内に7月1日オープンする。診療を担当するのは同科の日本整形外科学会専門医で医学博士の3人。
 - ① 大原英嗣（おおはらひでつぐ）主任部長（日本股関節学会評議員、大阪医科大学臨床教育准教授）。
⇒股関節を中心とした関節外来を担当。
 - ② 飛田高志（ひだたかし）部長（日本整形外科学会専門医）
⇒足の外科が専門。
 - ③中川浩輔（なかがわこうすけ）副部長（日本整形外科学会スポーツ医）
⇒膝関節が専門。
- ★ センターを設置することにより、股・膝・足それぞれの関節における質の高い最新の診断と治療を提供することが可能となる。整形外科の大原英嗣主任部長は「スタッフも充実し、下肢関節（股・膝・足）全般において、人口関節手術だけでなく、関節温存を中心とした骨切り術・関節鏡視下手術などの専門治療を受けていただけるようになりました。」と話している。
- ★市立ひらかた病院は第2種感染症指定医療機関としての役割を担っており、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外来の患者に対し入り口前での検温など院内感染防止のための取り組みを行っている。

<お問い合わせ> 市立ひらかた病院 ☎072-847-2821 FAX072-847-2825